

The Newsletter of International College of Dentists JAPAN Section



2014年2月18日

vol.4 Issue 1

渡り鳥のV字編隊飛行



フェローおよびご家族の皆様には、健やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

2013年度・国際会長 Aronson
の退任挨拶(英文および橋本国際理事和訳)の中に、渡り鳥のV字形編隊飛行について

(自然学者Milton Olsonの随筆より)の記載がありました。渡り鳥は、V字編隊飛行することが観察されておりますが、先頭のリーダーの飛行が他の仲間の飛行を

助け、先頭が疲れたら後尾に回って新しいリーダーを助け、傷ついた鳥が編隊を離れると、他の二羽が寄り添って助けるようです。本会も、先頭を走った会長が後ろに回って会の発展を助け、新しいリーダーが先頭を走る年度を迎えました。

本会の運営に携わる全てのフェローの創意工夫と実行力で、崇高な目的に向かって飛び続けることができることを念願しております。

(一社)ICD 日本部会 会長 佐藤 吉則

事務局

ICD日本部会の佐藤会長の下で約2年間事務局長を務めました。その間、他国のICD部会の認証式、国際理事会にもオブザーバーとして参加する機会を持ちました。他国のICD部会では会員数は増加し入会希望者が待機している状態です。ここ数年日本部会では会員数が減少して事業予算も減少せざるを得ない現状でした。しかし2013年度は13名の新フェローを迎える事が出来、また2014年度も15名の新フェローを迎えようとしています。最近、稀に見るこのような多数の新フェローを迎える事が出来たのは、フェローの皆様のご尽力のおかげだと感謝し又嬉しくも思っています。しかしその反面、入会して頂いた多数の新フェローにICD日本部会が満足して頂ける会になる事が出来るかと、不安があります。

2014年度 三大事業の開催予告

第57回総会・認証式
2014年5月24日(土)
アークヒルズクラブ

年末集会
2014年12月6日(土)
帝国ホテル

現在、執行部はフェローの先生方に満足して頂ける会にすべく、会員増強委員会から頂いた提言を参考にして努力をしています。その一つに国際的活動があります。日本部会の綱領にもありますが、歯科医学領域を通じて国際社会に貢献する事を本旨とするがあります。他国のICD部会をみても国際ボランティアを各国で行っています。日本部会でも数名のフェローがそれぞれ国際ボランティアとして歯科診療を各国で行っています。このような活動に対して日本部会は財政、予算

上すぐに金銭的支援は出来ませんが、国際ボランティアとして歯科診療に参加出来る方の募集をホームページに掲載する事を昨年の理事会で認めて頂きました。日本部会の国際化の方向として各国のICD部会と交流、協力し歯科診療のボランティア活動を通して国際社会に貢献する事が出来ればと思います。

事務局長 作間 敏信

財務

本会の会計状況について

2013年度の年末集会と冬期学会の決算がまだ出そろわない状況ですが、今年度の決算については収支のバランスが保てるのではないかとという予測です。

会費収入が減少し続ける中で事業規模を落とさないで事業を執行していくには、会費以外の収入に頼らなければならない状況があり、このために雑誌への広告掲載や冬期学会における企業展示などによる収入が欠かせません。しかしこれらの収入を得るのに、担当委員会の役員・委員の皆さんにかなりの個人的負担がかかっていることが気になります。

ちょっとうれしいことは本年度入会したニューフェローが13名で、来年度につきましても10名以上のニューフェローを迎えられそうな状況で、数年間この傾向が続くことになれば会員数の減少に歯止めがかかり、会の再興も期待できるのではないかと思います。

ニューフェローの増加には、昨年度より特別委員会として設置した会員増強委員会の皆さんのご活躍が大きく寄与していると思います。

皆さんからのニューフェロー推薦も是非お願いします。

財務主事 根岸 達郎

◆ 国際理事からの報告 ◆

毎年ニュースレターに書かせて頂いているが、依然として国際理事の立場や活動について十分ご理解頂けていないようである。2012年のニュースレターに千田国際理事が書かれているように、国際理事は“国際的視野”に立って活動すべき立場であって、毎年1回行われる国際理事会は各部会の“利益代表”の会ではない。

2013年度の国際理事会は9月に成都市(中国)で開催されたが、生憎千田理事、小生共に学会や大学行事の為出席出来ない事になった。その旨を国際本部に伝えたところ、重要な審議事項もある事から、日本部会か

ら誰か代理で出席するようにという強い要請があり、結局佐藤吉則会長が出席された。Aronson国際会長からは日中関係が原因で参加しないのでは?などと心配



されるメールも届いたが、決してそのような事はないという事を説明し理解して頂いた。この様に国際理事は国際理事会には必ず出席するという義務を負っている。2日間の日程で審議すべき事項はたくさんあり、それ以外に個人が所属する委員会活動もある為、早朝から夕方まで続くハードな会議である。

国際理事の活動として最近は国際会長からのメッ

セージを日本語に翻訳し、国際本部から日本部会フェローにメールで直接送ってもらう活動もしている。国際本部の考え方を理解するためにも是非ご覧になって頂きたい。

国際理事 橋本 光二

❖ 総会・認証式

2014年度の総会・認証式は5月24日(土)、昨年と同じ「アークヒルズクラブ」にて開催をし、認証式の後は特別講演、懇親会を予定しております。

今回は役員改選、会長交代式、そして多くのニューフェローをお迎えしての認証式となります。

国際の名に相応しい式を企画していきたいと調整しておりますので、フェローの皆様のご協力をお願いいたします。

事業運営委員会 総会・認証式担当委員長 堀口 裕司

❖ 年末集会

2013年度年末集会在、12月7日(土)帝国ホテル孔雀西の間で開催されました。

まずは、鈴木貴規先生(NYUCD 歯周インプラント科在籍)による特別講演『日米歯科医療の違い』があり、改めて現在の日米の違いをわかりやすくお話しして頂き、フェローの方々が聞き入っていました。

アトラクションは南風野 香さん率いる7名の方々による『スペイン舞踏に魅せられて』というタイトルで盛大にスペシャルフラメンコショーが行われました。

かき鳴らすギター演奏(トケ)、響き渡る歌声(カンテ)、そして激しくも妖艶な踊り(バイレ)。この3つが



一体となりフェローの方々の魂を揺さぶりました。

フラメンコ舞踏の興奮も冷めやらぬまま、佐藤吉則会長の挨拶と共に懇親会が始まり、美味しいお酒とお料理に舌鼓を打ちながら時間の許す限り歓談を楽しみ、とても有意義な時を共有できた年末集会となりました。

今回の年末集会在が皆様方のご協力のもと、無事に終わることができましたことを改めて御礼申し上げます。感謝。

事業運営委員会 年末集会担当委員長 稲川 憲弘



❖ 冬期学会

2013年12月7日(土)ICD日本部会の冬期学会が帝国ホテル『孔雀西の間』において多くのフェローの参加のもと盛大に開催されました。

今回の冬期学会はメインテーマとして『歯内療法のプレジジョン向上を目指して』と題して企画されたものです。水谷忠司フェローの根尖孔に関する論文(J.Endodonticsに掲載、1992)がコーエンの世界的な教科書『Cohen's Pathways of the Pulp』に大きく掲載されたことに因み、歯内療法をメインテーマと致しました。

講演はまず愛知学院大学歯学部教授 中村洋先生による『日常臨床のプレジジョンを目指す歯内療法』、そして田口正博フェローによる『歯内療法の成功に關与する器具の滅菌法』、最後に水谷忠司フェローによる『歯内療法のプレジジョンを支える水谷メソッド』という貴重な講演をいただき、日常臨床で毎日遭遇する歯内療法を見直す機会となりました。

素晴らしいフェローの方々と、楽しく有意義な時を共有出来たことに感謝致します。

事業運営委員会 冬期学会担当委員長 武部 裕光



水谷 忠司フェロー



中村 洋先生



田口 正博フェロー

❖ 改革推進委員会

改革推進委員会では川嶋仁一常任理事、富永正志理事の下、新谷雅隆委員、西山和彦委員、今村貴彦委員の3名の委員で構成された委員会です。

当委員会は規約・規程等々において、日本部会として国際本部との整合性を諮りながら検討し改善をはかり、日本部会執行部に報告することが主な活動です。

2013年度は以下の事項が検討されました。

- 1) 名誉フェロー、終身フェローの処遇について
- 2) フェローの再認証について
- 3) 入会規定について
- 4) 除名、退会勧告について
- 5) 名簿作成(個人情報)について

今後については、他の学会がそうであるように構成学会員(当会ではフェロー)の減少(退会者の増加と新入

会員の減少)、フェローの学会への参加の減少など多様な問題が山積みであります。

改革推進の名のごとく、これらの難問に改革改善をはかりつつ、ICD日本部会の今後の発展に微力ながら

寄与できるよう委員会として対処していく所存です。

改革推進委員会 委員長 今村 貴彦

❖ 広報・編集委員会

広報・編集委員会では、昨年度の日本部会雑誌第44巻1号に特集ページとして「20年後に向けての歯科医療」を企画掲載しました。今年度は続編を第2弾として予定しております。

昨年は6年ぶりに会員名簿を発行しましたが、現在は「紹介しおり(小冊子)」の発行の準備にとりかかっております。「経費節約!! 費用削減!!」という天の声の下、雑誌等への広告掲載を企業にお願いしながら、委員が一丸となって頑張っております。皆さまのご協力をいただきながら、より良い雑誌の発行をめざして

いきたいと思っております。

ホームページに関しても、ICDの活動を対内外の多くの方々に広く知っていただくための情報発信の場でありたいと考えております。また、当委員会にはプロ顔負けのカメラマンがそろっており各行事の際に激写し続けていて、数年後の「60周年誌」の資料として使う準備をしております。

今後とも宜しくお願いします。

広報・編集委員会 委員長 井上 淳子

❖ 国際交流委員会

ICDの目的に世界各地に散在する歯科医師との親睦、歯科に関する知識の交流と普及、そして高度の科学技術に裏付けされた奉仕的精神を持って活動することが挙げられている。

委員会ではこの考え方をベースに総会・認証式では現役の歯科大学留学生を招待し、自国の歯科事情や取り組んでいる研究などを発表してもらい海外来賓も交えて交流、親睦を図っている。又、海外来賓と共に昼食をとりながら自由に語り合うアジア部会交流会を行っている。海外の参加者からも良い反応を得ており、色々な情報交換も出来る事から今後もこの会を継続さ

せていく重要性を感じる。年末集会ではフェローの先生、その子息で海外留学経験のある先生に講演をしていただいている。日本人から見た海外の事情を身近な先生より話を聞く事は大変興味深く刺激にもなっている。海外の総会・認証式、学術の会に毎年数名の先生が出席されており、フェローの先生からはモチベーションがあがったという声も聞かれるため今後海外ボランティア活動報告も含めて海外に対してのインフォメーションも充実していければと考えている。

国際交流委員会 委員長 斉藤 政一

❖ 会員支援委員会

会員支援委員会はICDメンバーの皆様が学会内において楽しくかつ円滑なクラブライフをおくれるよう側面から支援させていただく委員会です。

新フェローの認証式、総会時の儀式的サポートそして年末集会、冬期学会時に会員相互の親睦のお手伝いをさせていただいております。また、日常においても

新フェローを中心としたICDメンバー内での交流を目的とした勉強会および検討会を企画しております。今後もメンバーの皆様が末永くICDライフをエンジョイしていただき、歯科界においてもご活躍されるようご支援させていただきます。

現在、大金 誠副会長、水谷忠司常任理事、福本顕

嗣理事を中心に委員会を開催させていただきまして、ICDの魅力を探求し、ドロップのない活気のある学会へとお手伝いさせていただきたく存じます。

会員の皆様のなご協力をお願いいたします。

会員支援委員会 委員長 小峰 一雄

❖ 2013年度ニューフェロー紹介

赤井 淳二

この程新フェローとして栄えあるICDのメンバーの末席に加えていただいた赤井淳二と申します。1980年に日本大学松戸歯学部を卒業し、同大学院(第一解剖学)に進学の後、千葉県船橋市で開業いたしました。

どうぞよろしくお願ひ致します。



交流を通じて歯科医師人生を満喫したいと思っております。若輩者ではありますがどうかご指導ご鞭撻お願い申し上げます。

生田 伸之

福井県福井市で開業しております、生田伸之と申します。

趣味は、家庭菜園、山歩き、スキーなどです。最近特に、山歩きに、はまっています。

今後とも、ご指導よろしくお願ひいたします。



安藤 正実

このたび昭和大学歯学部長 宮崎隆先生、同同窓会長 飯島裕之先生のご推薦により2013年度新フェローとして入会をさせていただきました安藤正実と申します。

伝統あるICDに入会させていただき大変な光栄とともに誇りに感じております。

私は昭和大学を昭和59年に卒業後東京都板橋区にて開業しました。現在板橋区高島平と埼玉県朝霞市、静岡県伊東市に医院を運営する医療法人の理事長を勤める中、ライフワークでもあるインプラント関係のセミナーを開いたり海外での講演会を受講したりの日々を過ごしています。今後は、名誉あるICDの一員として歯科医療に貢献するとともに会の発展に寄与したいと考えております。さらに、すばらしい諸先輩先生との



石川 明子

日本歯科大学を卒業後、大学院(保存学専攻)でコンポジットレジンの研究をしてきました。現在は、日本歯科大学附属病院総合診療科でホワイトニングチーム

長をしています。この会が、国際的に活躍している会と知り、微力ではありますが尽力致したいと思っております。趣味は、海外旅行、海水浴、乗馬です。

よろしくお願ひ致します。



歌橋 麗華

今年度新フェローの歌橋麗華です。昭和大学歯学部卒業後歯科麻酔科で研修、医学部麻酔科学講座で医学

博士を取得致しました。現在目黒区並びに練馬区でオートクチュール医療、アンチエイジング医療をすべての患者様に行なうべく日々診療に精進しております。



内田 耕司

山歩きが趣味で、東京都新宿区開業の内田耕司です。私の専門は、局部床義歯学で、学術的には、構给力学を学びました。開業してからは、学術的興味も多様化し、予防医学を歯科診療の中核と位置づけ、日々の診療に取り組んでおります。これらの知識が、ICDの社会貢献活動に役立てば良いと考えております。



太田 彰人

出身大学：日本大学歯学部
学位取得(専門分野)：局部床義歯学講座
趣味：スキー、剣道
出身地：石川県金沢市



まだまだ歯科治療そして人生におきましても若輩者ではございますが、今後とも宜しくお願い致します。

金子 明寛

神奈川県西部、大山のふもとにあります東海大学医学部外科学系口腔外科の金子明寛です。研究テーマは口腔感染症、抗菌療法です。ICDでは、事業運営委員会の配属で、今後活動させていただきます。御指導よろしく申し上げます。



北村 晃一

出身は東京の下町両国です。1993年に日本大学歯学部を卒業後、局部床義歯講座に入局しその後江東区深川で開業いたしました。



大学時代はヨット部に在籍し、現在は、東京湾でクルージング、釣り等を楽しんでおります。

北村 政昭

2013年度新入会員の北村政昭です。神奈川県伊勢原市で開業しております。現在、宮崎隆昭和大学歯学部長の歯科理工学講座において兼任講師の立場で大学院卒業後も引き続き学ばせていただいております。何卒よろしくお願い申し上げます。



久保田 幸伸

2013年度入会させて頂きました久保田と申します。三重県亀山市で開業医をしています。



また、愛院大で助教(非常勤)として歯科放射線学講座にお世話になっております。

今後は国際的なボランティア活動もしたいと考えております。宜しくお願い致します。

佐野 修司

この度、2013年度新フェローとして、松尾通先生ならびに前島健吾先生のご推薦のもと、国際歯科学士会日本支部(ICD)に入会させ



ていただきました、東京都江戸川区で開業しております、佐野修司と申します。

出身大学は日本歯科大学新潟歯学部を卒業しました。

趣味はゴルフ、スキー、ジムトレーニング、最近では山歩きです。そして昨年は年男だったので、一年間の禁酒を行いまして、今年の1月1日より解禁しましたのでお酒の席でも諸先生方とお話しさせて頂く機会を楽しみにしております。

今後とも、ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお祈りいたします。

山本 一世

このたび新フェローとして入会させていただきました山本一世(やまもとかずよ)です。1987年に大阪歯科大学を卒業し、現在は母校の歯科保存学講座に奉職しております。趣味は職場近くの大坂公園の散歩です。どうぞよろしくお祈りいたします。



❖ 2013年中部支部総会・学術講演・懇親会 報告

ICD日本部会中部支部の総会・学術講演・懇親会が平成25年2月17日(日)にキャッスルプラザ名古屋にて開催されました。総会には中部支部会員26名のフェローの参加があり、司会進行役の鈴木フェローの開会で始まりました。水谷支部長よりICD中部支部の活動を例年の行事に加えて海外との交流やボランティア活動を含めての活発なものにして行きたいとの挨拶がありました。その後の報告事項や協議事項については出席者から多くの意見が出されて中部らしさが発揮されました。そして今年度日本部会に入会される予定の2名の先生の紹介がありました。

続いて学術講演会が行われ今年度はICD中部フェロー村上弘教授による“インプラントの現状と問題点”



という演題で講演がありました。出席者からは日常の臨床における問題に対しての質問が多く活気のある学術講演会でした。

懇親会は服部フェローの進行で始まり、恒例の文化講演は加藤条山氏の尺八演奏があり尺八の音色に魅了されました。そのあと出席者全員参加による“ひとこと・

近況報告”が行われ会場全体が爆笑の渦に つつまれました。いつもながらの本当に和やかな懇親会となりました。今年も本部からは佐藤会長はじめ多数のフェローのご参加を頂きありがとうございました。大変有意義な一日となりました。

中部支部 鈴木 佳弘

